

平成17年7月28日
(財) 2005年日本国際博覧会協会
地球市民村事務局
損保ジャパン環境財団
日本木材青壮年団体連合会

愛・地球博「地球市民村」

「忘れられた地雷原～ 韓国から訴える平和へのメッセージ」のご案内

日時:7月29日(金)～30日(土)、会場:交流ホール

博覧会協会企画事業遊びと参加ゾーン「地球市民村」では、パートナーシップの損保ジャパン環境財団が日本木材青壮年団体連合会とコラボレーションし、再生可能な資源である木材を有効利用することが、これからの社会にとっては非常に重要なことであるということを小学校の子どもさんや家族連れに、アピールするため、環境教室（森林、木材と環境のかかわりについて）や木工教室（間伐材を使ったイスのキットを組み立てていただく）、木材クイズ（参加自由）などを実施いたします。

記

日時：2005年7月29日(金) 9:00～19:30、30日(土)＝9:00～19:00

会場：愛・地球博 長久手会場 遊びと参加のゾーン「地球市民村」交流ホール

内容：展示コーナー： 木工工作コンクール作品展示／木材活用コンクール作品展示／木材利用推進パネル展示

イベントコーナー：29日11:00～19:30 30日10:00～18:00

森林木材のことを学ぶ環境教室

木工教室＝杉の間伐材のキット（幅30cm奥行き20cm高さ18cmの椅子）の作成教室（所要20分）

木エクイズ＝先着順に正解者には粗品をプレゼント、ふれあいライブ＝“愛 うたお”氏によるライブ

以上

参考資料

日本木材青壮年団体連合会

日本木材青壮年団体連合会は、木材に関する仕事に携っている若手経営者またはそれに順ずるものの集まりで、全国 8 ブロック（北海道地区・東北地区・関東地区・北信越地区・東海地区・近畿地区・中四国地区・九州地区）の各地区協議会からなりたっています。8 地区協議会は、全国 51 会員会団が参加する連合会で、木材関連では日本最大のグループとっていいでしょう。会員数、全国 1300 余名で組織されています。

主な目的は、木材の普及啓蒙・需要拡大のための PR 運動の推進、つまり木材の利用の拡大を主な目的としており、目的達成のための様々な方策をとっています。以下主な活動です。

1. 第 30 回 全国児童・生徒木工工作コンクール（平成 17 年度）
2. 第 9 回 木材活用コンクール（平成 17 年度）
3. 全国会員大会の実施
4. HP「木魂 21」の運営
5. ウディーレター（機関誌）の発行
6. 木材 PR カレンダーの作成
7. 小冊子「子供達に贈る森からの手紙」発行
8. 小冊子を使っての小学校高学年を対象とした環境教室の実施

特に木工工作コンクールは、全国より応募のあった作品数千点のなかから、優秀な作品を選び全国大会の時に表彰をさせていただいております。子供たちの熱意が感じられる作品ばかりです。木材活用コンクールも、木材を有効的に使用した、建築物等の作品を毎年表彰させていただいております。新たな木材の使い方も含めて素晴らしい作品が集まります。

これまで、木材を PR するためのイベント等にも数多く参加し、一般の方に木材のもつ有益性を理解していただきたく日々努力しています。